

沿岸各地の水温

(4 月 16 ~ 20 日)

日本海 10 度台 津軽海峡 9 ~ 10 度台
陸奥湾 7 ~ 9 度台 太平洋 8 ~ 9 度台

今回はほとんどの地域で昇温が見られ、平均前回差は+0.2度となっています。

昨年と比べると、陸奥湾及び太平洋側で1度程度高めとなり、平均昨年差は+0.7度となっています。

平年と比べると、陸奥湾内、津軽海峡及び太平洋側でやや高めとなっており、平均平年差は+0.9度でした。

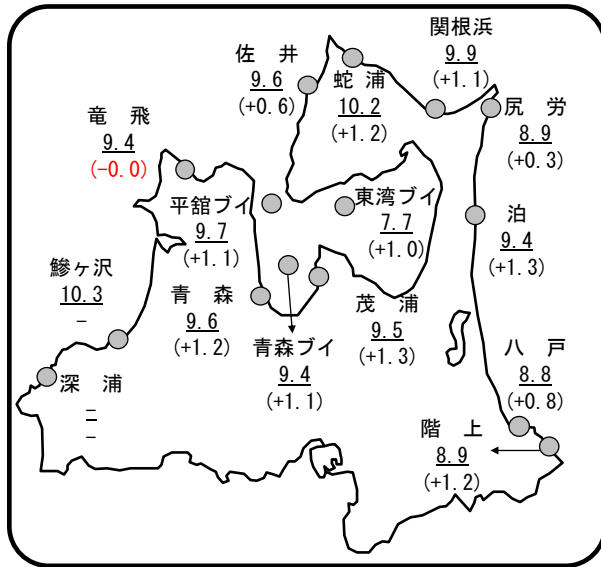


図 定地水温 (4月16~20日)
平均値 (平年差) ブイ1m

	水温	平年差	昨年差	前回差
深浦	-	-	-	-
鱒ヶ沢	10.3	-	-	+0.1
竜飛	9.4	-0.0	-0.7	+0.0
佐井	9.6	+0.6	+0.0	-0.1
青森	9.6	+1.2	+0.9	+0.5
蛇浦	10.2	+1.2	+0.8	+0.2
関根浜	9.9	+1.1	+1.6	+0.3
尻労	8.9	+0.3	+1.0	+0.2
泊	9.4	+1.3	+0.9	+0.0
八戸	8.8	+0.8	+1.0	+0.2
階上	8.9	+1.2	+1.2	+0.1
茂浦	9.5	+1.3	+0.6	+0.6
平館ブイ	9.7	+1.1	+1.1	+0.2
青森ブイ	9.4	+1.1	+1.1	+0.3
東湾ブイ	7.7	+1.0	+1.0	+0.4
平均	9.4	+0.9	+0.7	+0.2

太平洋の海況 (4月16~19日、表面水温分布)

概況；沿岸水温は8度台

○太平洋沿岸域の表面水温

前回と比較し、ほとんど変わっていません。前年同期と比較し、1度程度高い水温となっています。

○津軽暖流の尻屋崎東方への張り出し

7度等温線で見ると東経141度55分付近までで、張り出しは前回とほとんど変わっていません。

○親潮系冷水の南下

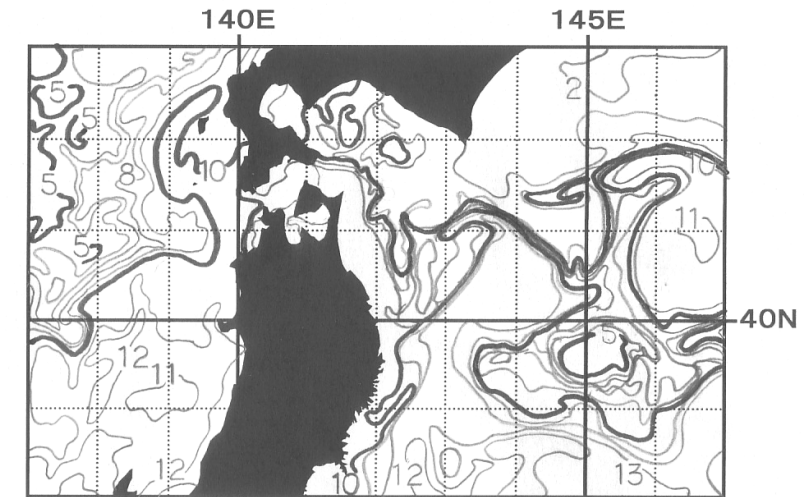
5度等温線で見ると北緯40度30分付近までとなっており、張り出しは前回より弱くなっています。

日本海の海況 (4月16~19日、表面水温分布)

概況；沿岸水温は9~10度台

○日本海沿岸域の表面水温

前回と比較し、わずかに昇温しています。前年同期と比較し、同程度の水温となっています。



資料：(社) 漁業情報サービスセンター

北部太平洋海況情報 第6号

4月20日発行 (4月16日~4月19日)

●六ヶ所沖の水温

	No. 1ブイ		No. 2ブイ	
	水深4m	水深5m	水深5m	水深20m
4月6~10日	8.25	8.23	-	-
4月11~15日	8.91	8.99	-	-
前回差	+0.66	+0.76	-	-
昨年差	+2.54	+2.72	-	-

データ提供：財団法人 日本海洋科学振興財団 海洋研究所
※No.1ブイは40° 58' N, 141° 25' E, No.2ブイは40° 57' N, 141° 25' E
※No.2ブイ水深20mデータはメンテナンスの為3月17日から欠測

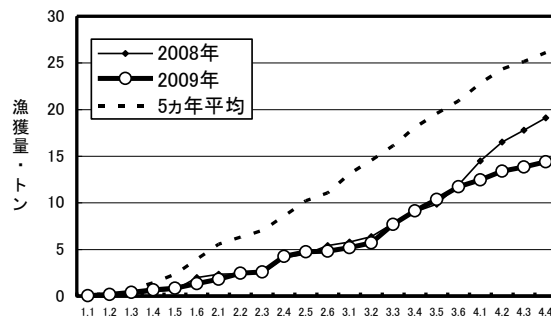
◎サクラマスの漁獲状況について

下の図は日本海 (新深浦町 (大戸瀬)・深浦：左図)、津軽海峡 (大畑：中図) 及び太平洋 (尻労・白糠：右図) の1月から4月第4半旬までの累積漁獲量の推移を示したものです。

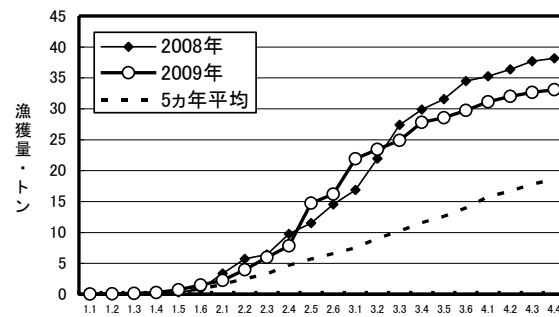
日本海の累積漁獲量は、約14トンで前年の約75%、5カ年平均の約55%となり、前年・5カ年平均ともに下回っています。

津軽海峡の累積漁獲量は、約33トンで前年と比較し約87%と下回っていましたが、5カ年平均では約178%と大きく上回っています。

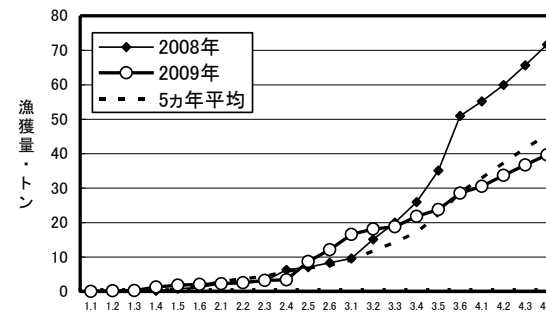
太平洋の累積漁獲量は、約40トンで前年の約55%、5カ年平均の約87%となり、日本海と同様に前年・5カ年平均ともに下回っています。



日本海 (新深浦 (大戸瀬)・深浦) のサクラマス漁獲量の推移 (4月第4半旬まで)



津軽海峡 (大畑) のサクラマス漁獲量の推移 (4月第4半旬まで)



太平洋 (尻労・白糠) のサクラマス漁獲量の推移 (4月第4半旬まで)